

学校だより No.3

☆時代とともに変化するもの・変わらないもの

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでのメダルラッシュや数々のノーベル賞の受賞など、昨年も日本人の活躍が目立ちました。最近では、勉強においても運動においても、最新の技術や考え方、様々な道具や機械等が開発され、その技術は日進月歩（にっしんげっぽ）です。

中高生において、日本の理科や数学のレベルは世界の上位の国に入っています。また、今まで日本人の上位入賞が難しかったスポーツでも、国際大会やワールドカップなどで入賞するようになるなど、学問の世界でもスポーツの世界でも、日本は世界のトップレベルになっています。

私が中学生の頃は塾が始めの頃で、塾に通うのは珍しい時代でした。「ノーベル学習塾」という塾が近所に出来て、友だちが通うようになり、うらやましかったのを思い出します。今から40年も昔のことです。



部活動では、「練習中は絶対に水を飲むな」と教えられました。どんなに暑くても、練習時間が長くても、水を飲めませんでした。現在では「膝に悪い」ということでやらなくなった「うさぎ跳び」も、昔はどの部活動のメニューにも入っていました。



昔と今とでは、環境や考え方がずいぶん違っています。しかし、時代が変わっても変わらないものがあります。それは、「情熱」とか「やる気」といった気持ちの部分です。

どんなに力がある人でも、やる気が無くては勉強も運動も伸びません。「本気で頑張ろう！」「絶対に勝つ！！」という気持ちがない人に、どんなに教えても、力は付かないものです。勉強で言えば、「できるようになりたい！」「力を付けたい！」という気持ちがあれば、50番の人が3番になることも、100番台の人が10番台になることも可能です。逆に、やる気を出さず怠（なま）けてしまえば、ひとケタの順位にいる人でも、30番、50番と落ちてしまうでしょう。

部活動も同じです。専門的な知識がある先生が良い練習をたくさん教えても、皆さんがやる気を出さなければ、力を付けることはできません。逆に、その競技の経験が全くない先生であったとしても、皆さんが「絶対に強くなりたい」「うまくなりしたい」「より良くなりしたい」という気持ちを持って真剣に向き合えば、力は付いていくものです。

新年度になり、新たに1年生を迎えました。教科の先生も部活動の顧問の先生もいろいろと代わりました。大切なのは、皆さんが「本気で頑張ろう」という気持ちで、勉強や行事や部活動に向かえるかどうかです。

これからも、本気で、全力でぶつかっていきましょう！



☆慌ただしけれど…

入学式が終わった放課後に、もう部活動が始まりました。ポカポカ陽気の中、校庭や体育館、武道場やテニスコートで一生懸命に汗を流す生徒の姿があります。そして、文化部の生徒も早速、熱心に活動を始めています。



今週は身体測定や自転車点検、学力検査や新入生歓迎会と、目まぐるしい1週間になります。そして、1年生は部活動見学が始まり、2, 3年生は、競技によっては次の日曜日から早くも春季大会が始まります。



1年生にとっては、中学校生活に慣れる前に、慌ただしく毎日が過ぎていきますが、先輩方も同じように通り抜けて今の立派な姿があります。大丈夫です。一生懸命に新鮮な毎日を楽しんで過ごしてください。

2, 3年生はもう慣れていきますね。良いリズムで忙しい1週間で上手に過ごしましょう。



☆心配なこと

今日(11日)は朝から雨でした。8時前後から本格的に降ってきました。そんな中、皆さんの登校の様子を見ると、合羽(かっぱ)を着ないで自転車に乗ってくる姿が目立ちました。ウインドブレーカーや制服がびしょ濡れになっている様子を見て、「今日はテストだけれど、体が冷えて体調が悪くならないだろうか…」と気になりました。

合羽を着るのは面倒でしょう。自転車に乗っているうちに熱くなってきて、蒸れてしまうのも気持ちが悪いです。でも、濡れてしまっても冷えてしまうのは、もっと体に悪いことです。



濡れた体は少しずつ体温で乾いていきます。しかし、その時に体が奪われる熱(気化熱)は、とても大きいものです。大切な体を守るという点でも重要なことです。雨の日にはぜひ合羽を着てほしいと思います。

☆桜が満開です

入学式に見事な花を咲かせていた桜が、今、まさに満開です。風に乗って、花びらが少しずつ舞うようになりました。勉強に部活動に忙しい日々ですが、少し桜に目を傾けてみるのも良いかもしれません。

桜の花の時期はわずかです。登校する時に、ちょっと眺めてみてください。

